



- | | |
|----------|---------------|
| (1) 1年1組 | 『 兄から学んだ事 』 |
| (2) 2年2組 | 『 人種という名の壁 』 |
| (3) 3年2組 | 『 不幸なんかじゃない 』 |
| (4) 3年2組 | 『 私達にできること 』 |

私が一番印象に残ったことは、3年2組のおっしゃったことです。それは、「平和は言っているだけじゃ平和にすることはできない」と言うことです。私はこれを聞いて衝撃を受けました。確かに、「平和、平和が大切」などと、皆は言うけど実際には誰かをいじめたり差別をしたりと、何かしら矛盾しているなど感じました。口に出すことは誰でもできる。しかし、それを実行しようとする人はおそらく少ないんだろうなと思いました。なぜなら、実行できているのなら、この話が題にはならないと思うからです。少しずつでも自分にできる事を見つけていこうと思います。今は、ネットが普及していて情報を得ることは簡単です。だから、ニュースや今、世界でおきている出来事を把握し、それを基に私は平和について、もっと深く考えていきたいと、の発表を聞いてそう思いました。 1組

私は、1年1組のの人権作文が1番印象に残りました。私も、障がい者の人を見たら普通じゃないというような感じで、少し差別的な目で見てしまっていました。でも、この人権作文を聞いて、考えが変わりました。自分の家族が障がい者となったらと考えてみると、すごく大変なんだろうなと思いました。毎日を一生懸命に頑張っていることは、1人1人かわりないのに、普通じゃないというような感じで捉えるのは本当にダメだったなと思いました。障がいを持っている人は、周りに支えられていると言っていました。私も普通に接して、陰で支えられるような人になれたらなと思いました。今日、聞いた人権作文をこれからの生活で活かしていけるようにしたいです。 3組

私も障がいを持っている方に対して「かわいそう」と思うことがありました。しかし、の話聞いて、それは違うなと思いました。その人その人が幸せならばそれで良い。人の幸せは他の人が決めるわけじゃない。そう気づかせてくれました。また、の話では外国の方に対する態度、気持ちについてよく考えさせられました。外国の人とあまり交流したことのない私は、外国の人を珍しいと思って見てしまいます。しかし、そういう思いをなくしないと差別は無くならないということを改めて理解できました。平和な国とは何か、戦争がないから平和。それも1つだと思うけど外国の方や障がいを持っている方に対して差別がないということも1つだと思います。私にできることは自分を変えること。私の気持ちを変えることによって少しでも何かが変わればいいなと思います。4人の発表は全て私自身に関係していることで、すごく心に響きました。 1組

僕は、3年生のの発表を聴いて、生まれつき、障がいを持っている人は、自分たちと違って、少しかわいそうと思っていましたが、その人はその人なりの幸せがあると思ったし、楽しい生活を送ることができているのだなと思いました。僕も、障がいを持つ人を上からでも下からでもなく、まっすぐに向き合いたかったです。この人権作文発表会を振り返って、僕は違う国の人だからとか、障がいがあるからといってそういう人と接しないのではなく、交流を深められたら良いなと思いました。 2組

人権作文発表会で、発表してもらった人の伝えることはそれぞれ違ったけど、どの作文もすごく自分が考えさせられる部分がありました。今、世界で起こっているいろんな問題を直せるようにするには、自分達、一人一人が、どんな事でもいいから、意識を変えるなどして、どんな人でも全員が良い気持ちで過ごせるようにしていけないといけないんだなと思いました。自分も障がいを持っている人に対する気持ちや外国の人に対する考えなど、そういったものを無くしていけないといけないと思いました。 2組

今日の人権作文全校発表会で思った事は、普段の生活で、障がいを持った人などを見ると、変なものを見るような目で見ていたり、こそこそとにやけながら何かを話していたりするけど、その人達にも支えてくれる家族が居たり、友達がいたりして、そんな支えている人たちはどんな気持ちで、その場にいるのかなと思いました。自分の家族が何にも関係が無い他人に理由も特になくのに馬鹿にされて悲しかったり、腹が立ったり必ずしていると思います。そんな人たちの気持ちを考えて普通に生まれてきた人たちは生きていくべきだと思います。 3組